

イートンカレッジサマースクール(2025.7.21~8.6)

夏休み、本校では高校 1 年生の希望者を対象に、短期海外研修を行なっています。今年はアメリカ、イギリス、フィリピンで研修が行われました。ここでは、イギリスで行われたイートンカレッジサマースクールについて、引率教員がご紹介します。

イートン校とは、イギリスにある 500 年以上の歴史を持つ男子全寮制の学校です。サマースクールでは、普段生徒が寝泊まりしている宿舎（ハウスと呼ばれています）に実際に滞在して、英語の授業に参加したり、イギリスやイートンの文化に関する講義を受けたり、遠足に出かけたりします。

英語の授業は、イートン校の OB や教員によって行われ、イギリスの歴史についての授業、日記の添削、少人数での会話や発表といった内容でした。生徒に感想を聞いてみると、「緊張したけれど、ラ・サールのネイティブ教員による授業と雰囲気似ていて、楽しんで受けることができた」とのことでした。

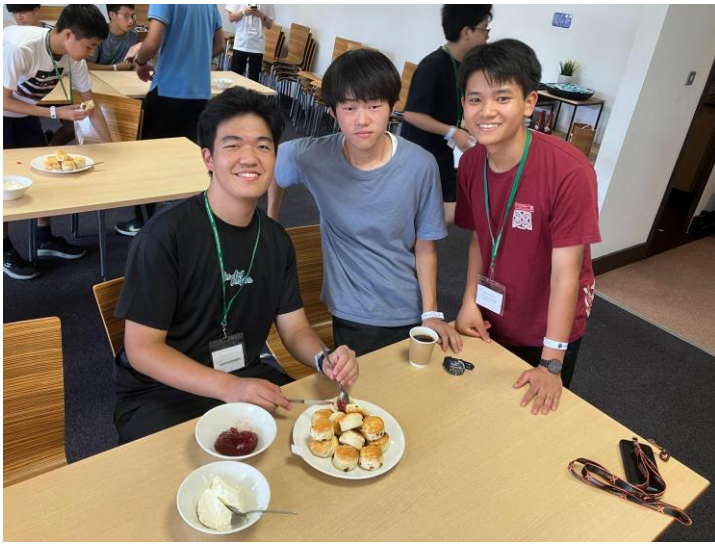
講義の時間には、遠足で行く場所の歴史についての解説や、テーブルマナーの講座などに加え、イートン校の職員や OB による、イートン校での暮らしについての紹介もありました。特に、イートンの寮母さんのお話には皆興味津々で、イートン生の暮らしの実態についてたくさん質問がでていました。

課外活動として、イートンが所有する広大な敷地内の様々な施設を見学・利用する機会もありました。オリンピックの会場にも使われたドーニーレイクでボートに乗ったり、運動場で汗を流したり、15 世紀から使われている歴史ある教室を見学したり、博物館に収蔵されている様々な歴史的遺物や生物の標本について学んだりしました。一教員としても、1 つの学校がこれほど多くの設備や財産を持っているのか、と圧倒されてしまいました。

また、遠足として、ストーンヘンジ、ソールズベリー大聖堂、ウィンザー城、大英博物館、ポーツマスなど、イギリスの様々な観光名所にも行きました。見るもの全てが新鮮でしたし、イギリスの長い歴史を随所を感じる事ができました。

生徒にとっては、これらの授業・講義や課外活動と同じくらい、イートンの宿舎での日常生活も、思い出に残る経験だったようです。他校の生徒と互いの学校の話をしたり、一緒に宿舎で生活してくれたイートン OB に果敢に話しかけたり、みんなで寮の食堂でご飯を食べたりといった何気ない生活の一コマが、彼らにとって素晴らしい思い出になったのではないかと思います。

彼らにとって、この経験が普段の学校での学びと結びついて、彼らの視野をより広げるきっかけになることを願っています。



上段左から スコーン作り体験 / 宿舎でのビリヤード
 中段左から イートン内の運動場にて / ウィンザー城にて
 下段左から ストーンヘンジにて / 沈没船メアリーローズ号 / イートン校にて